

那覇市まち・ひと・しごと創生総合戦略

— “やっぱり、いいよね！「なは」のまち” 30万人の笑顔、輝け☆大作戦—



平成28年3月

那 覇 市

はじめに

我が国の総人口は、2008年をピークとして減少局面に入りました。総務省統計局の資料によれば2014年10月1日現在の総人口は1億2,708万3千人で、前年に比べ21万5千人の減少となりました。総人口の減少は、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」によると2020年代初めは毎年60万人程度で進み、2040年代には毎年100万人程度になるとされています。実に、和歌山県に相当する規模の人口が減少することになります。このように、いったん、人口が減少し始めると、減少スピードは今後加速度的に高まっていきます。



人口減少が経済社会に与える影響は、「働き手」の減少を生じ、その結果、消費市場・経済規模を縮小させ、一人当たりの国民所得を低下させることにあります。

そのため、国は、急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、将来にわたって活力ある日本社会の維持を目指す「長期ビジョン」及び「総合戦略」を策定し、市町村にも地方版の総合戦略の策定を求めています。

本市の戦略策定にあたっては、結婚・出産子育て及び定住移住に関する市民アンケート調査、関係団体へのインタビュー、なは市民協働大学院を活用したワークショップ、産官学金労言からなる那覇市総合戦略懇話会、市民意見の募集を行いました。

その結果、「将来にわたって人口30万人を維持し、みんなの笑顔が輝く『なは』」を長期目標に掲げる人口ビジョンをまとめ、長期目標を達成するために3つの施策の方向性を掲げた那覇市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました。

本市では、目指す市政運営を「ひと つなぐ まち」というキャッチフレーズで表現しており、そこには「人がまちをつくり、社会をつくり、世界をつくる」、「人材がすべてに共通する財産である」という思いが込められています。本戦略の推進にあたっては、様々なピースをはめ込み、つながっていくジグソーパズルのように、地域と事業者、行政の協働によるまちづくりをさらに発展させることが重要です。それにより、本市の素晴らしいオンリーワンの魅力が向上し、活力ある地域社会を維持するものと考えています。

結びに、本戦略の策定にあたり、専門的な視点からご意見いただいた那覇市総合戦略懇話会の委員の皆様、なは市民協働大学院受講生の皆様、アンケート及びインタビューにご協力いただいた皆様に、心からお礼を申し上げます。

イッペーニフェーデービル。

平成28年3月

那覇市長 城間 幹子

目次

人口ビジョン

1 本市の人口の推移と将来人口の推計	1
1.1 全国、沖縄県及び本市の人口の推移と将来人口の推計	1
2 自然増減及び社会増減の推移	5
2.1 自然増減の状況	5
2.2 社会増減の状況	9
2.3 総人口に与えてきた自然増減と社会増減の影響	13
2.4 世帯数と世帯人数の構成割合	14
3 本市独自推計による人口推計	17
3.1 各地区の人口推計	20
3.2 人口減少段階の分析	32
3.3 出生率・転入数の変化による将来人口のシミュレーション	33
4 雇用、失業等の動向	36
4.1 完全失業率と有効求人倍率	36
4.2 女性の就業率	38
5 人口の将来展望	39

総合戦略

1 那覇市版総合戦略の位置付け	40
2 計画期間と進行管理	41
3 施策に取り組む視点	42
4 施策の方向性（総合戦略上の基本目標）	43
5 各論	46